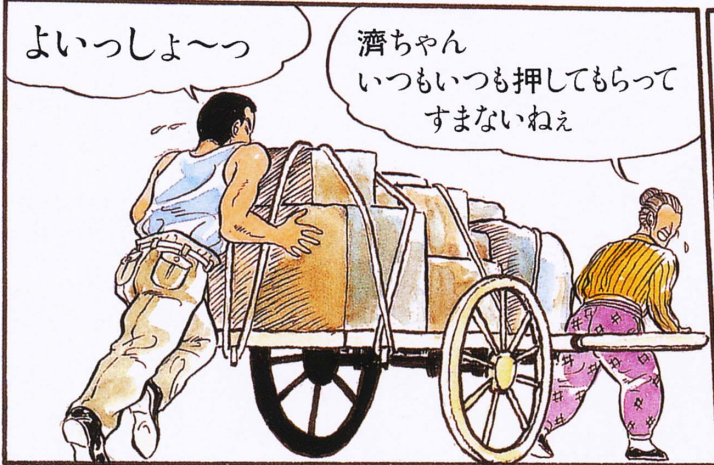




丸食誕生

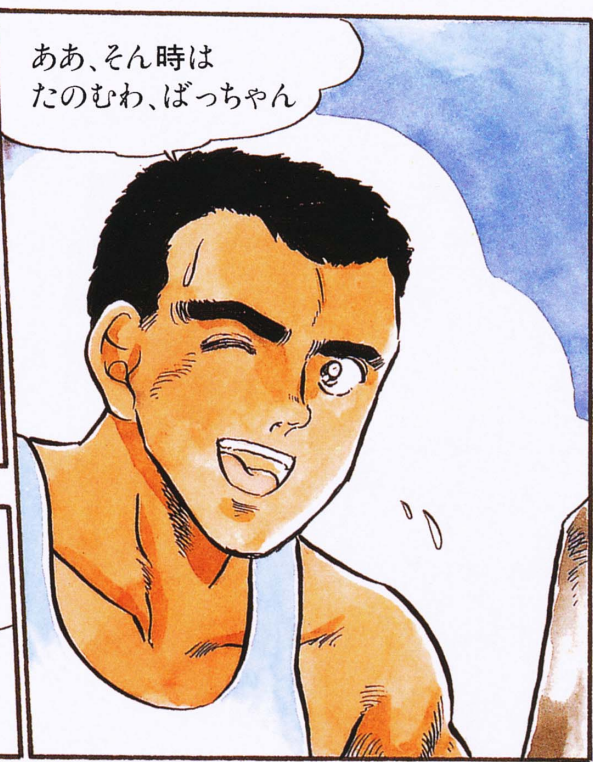


大正10年頃 下関



よいつしょ〜っ

濟ちゃん
いつもいつも押してもらって
すまないねえ



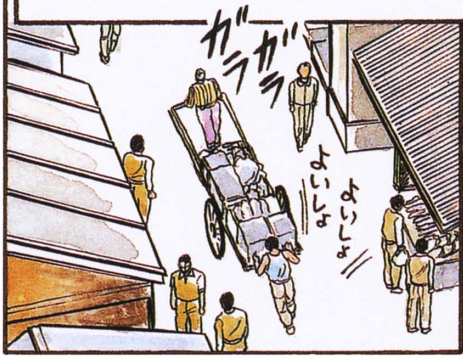
ああ、そんな時は
たのむわ、ばっちゃん



あんたがいつか商売
始めたらきつと礼するで

菊池濟治のプロフィール

明治34年4月15日。愛媛県の資産家の農家に、7人兄弟の4男として初代社長菊池濟治が誕生する。子供のころから常にグループで行動するのが好み、様々な知恵を働かせては新しい遊びを考え、失敗したり叱られると二度と同じ遊びをしなかった。



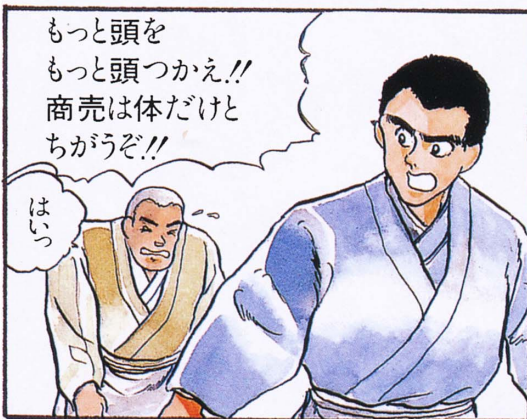
あかん!!

海の水じゃ
何べん
やっても
ナツパが
漬からん



菊池照市のプロフィール
明治36年6月1日。
菊池照市は濟治の弟として誕生した。
飴屋、商家に奉公し、興居島で農業に従事していたが、昭和4年、27才の時に濟治を頼って下関へやって来た。

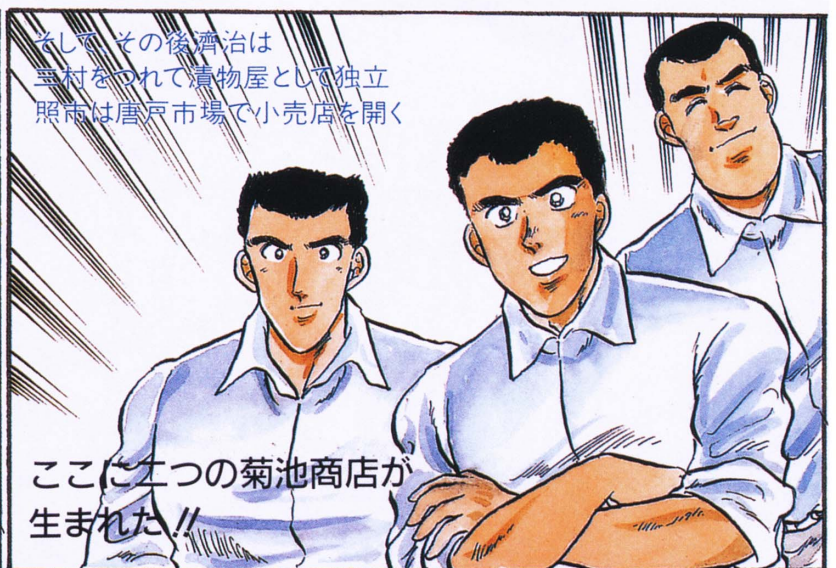
兄さん 会いた かった



三村政一のプロフィール
三村政一は大正2年3月15日、
下関の鮮魚仲買商の家に生まれ
た。小さいころからガキ大将で、
机に向かって考えるタイプでは
なく、まず体を使う
不言実行型の人間であった。



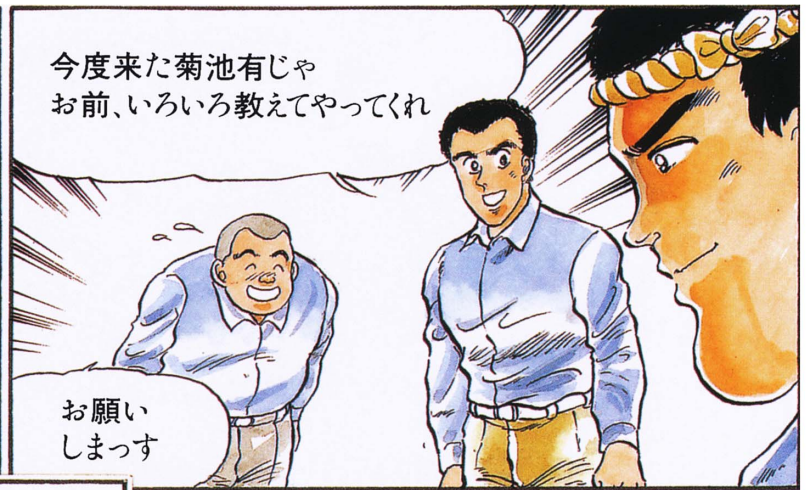
大番頭さん
おもいっきり
なぐるんだもんな~





お〜い政一!!

はい
何ですか



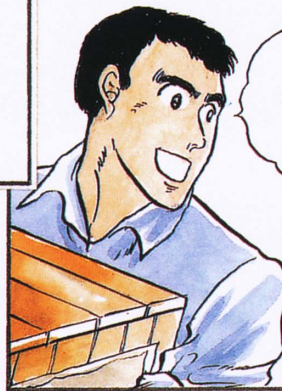
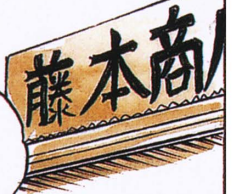
今度来た菊池有じゃ
お前、いろいろ教えてやってくれ

お願い
します

菊池有のプロフィール

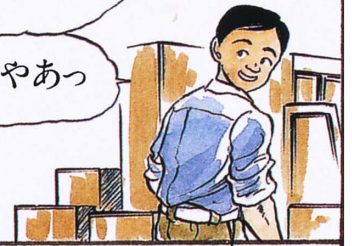
菊池有は大正8年4月11日に愛媛県で生まれた。少年時代から腕白で金太郎のような健康優良児だった。勉強があまり好きでなく、性に合わないことをするよりも丁稚奉公してでも身についた職で男の道を開こうと考え、昭和9年、済治を頼って下関へ来た。直情径行、短気の塊のような性格であった。

その頃、照市は隣の藤本商店の野村勇治と親しくなっていた



どうですか
景気は

いやあ



はいっ

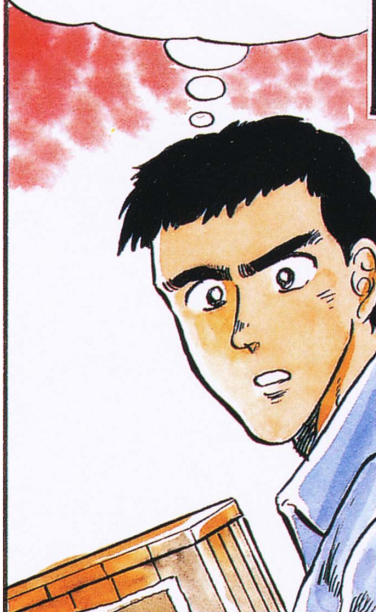
んじゃ さっそく
来てもらおうか

まだ20才だっなのに
支店長とはすごいんだ!!

野村勇治のプロフィール

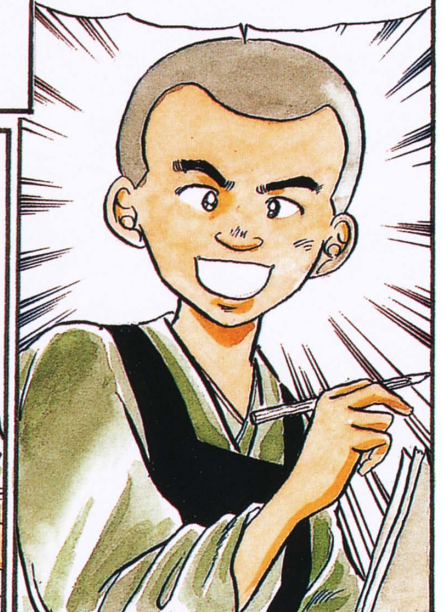
野村勇治は明治43年3月26日、山口県で生まれた。大正10年、父の炭坑が倒産し、強く希望していた中学進学を断念しなければならなかった。そして商人の道へ進み始める。

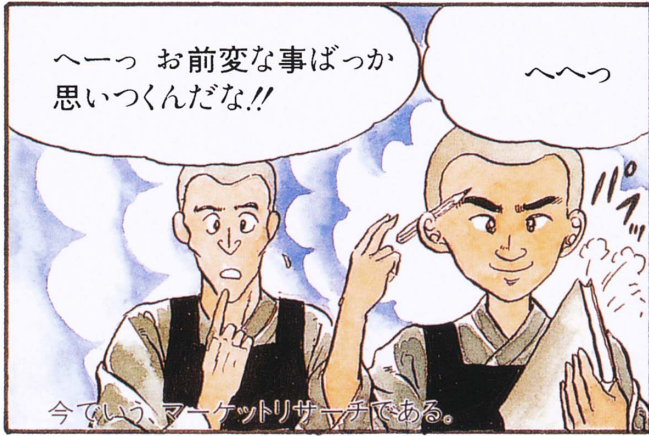
お客さんの家族構成や
使用量をかきとめてるんだ



野村の商売センスの良さを物語るこんなエピソードがあった。まだ彼がマルトー醤油で丁稚奉公していた時のこと……。

おい 勇治
何しとんだ





三村もまた
彼なりの出発を始めていた



米ぬかがないんなら製材所行って
オガクズもろってくりゃいい!!
塩は海になんぼでもある!!

オガクズ 沢庵は飛ぶように売れた
それも、すべて済治の経営哲学……
商売は信用!!の通り、以前の客達
のおかげであった!!



そして昭和21年
済治は佐藤和七と出会う!!

昭和21年、済治と和七は
漬物、佃煮の製造販売を始める。
息の合う二人の商売は順調に進んだ

仕入れじゃ
行くぞ
和七!!

佐藤和七のプロフィール

佐藤和七は大正3年9月15日、大分県で生まれた。幼い頃から温和な性格で他人との争いごとは好まなかった。が、内心は負けず嫌いの根性持ちであった。進取果敢な闘志にあふれ、チャンスは逃がさない和七と、慎重派の済治は絶妙のコンビネーションをとるようになる。

はいっ

そして昭和22年
六人は集結

別府漬物佃煮肴を
設立した

